

編集の視点で地域の魅力を発信

「エディット KAGAMIGAWA」第3回講座



1月24日（火）に、オンラインにて「エディット KAGAMIGAWA」第3回講座を実施しました。

受講生 15 人が参加。1月6日（金）～8日（日）に高知市・鏡川流域で実施したフィールドワークを振り返りつつ、2月に予定している青山ファーマーズマーケットへの出店準備を進めました。



最初に、青山ファーマーズマーケットがどんな場所なのか、また今回の講座の中での位置づけなどを全体で確認しました。フィールドワークで訪れた事業者さんにご協力いただいて、鏡川の魅力がたっぷり詰まった商品を販売する予定です。受講生の中には出店に向けて青山ファーマーズマーケットに見学に行った人もいて、熱意は十分です。

次に、4グループに分かれてフィールドワークの振り返り。写真を見ながら、楽しかった体験や心に残ったお話、鏡川で感じたことなどについて共有しました。残念ながらフィールドワークに参加できなかった受講生も、楽しい雰囲気や鏡川の魅力を感じ取ることができました。



店舗名 **こじゃんと鏡川**

コンセプト

- ・糸屑とイメージを重ねる
- ・市街地からすぐに行ける鏡川
- ・「鏡川」の地名を覚えてもらえる
- ・町と川との距離感を伝える
- ・鏡のように高知の写し鏡のようなお店
- ・高知の日曜市を感じられる空間（金井土佐弁接客）
- ・えいもん、こじゃんと

店舗を通して得られるものの価値

高知の産品を直接取り扱うことができる鏡川
 ここから高知の産品が直接届く
 高知の産品を直接届くことができる
 高知の産品を直接届くことができる
 フォーミュラマーケット、地域・人と関わりたい気持ち

タビタビ組（修造、ジョー、ケンゴ、森ちゃん）

そしていよいよ出店準備に入ります。グループごとにコンセプトとブース名を考えました。出てきたアイデアは、鏡川への思いが詰まったものばかり。投票でブース名は「こじゃんと鏡川」に決定しました。「とても、たくさん」を意味する方言の「こじゃんと」。鏡川の魅力を東京・青山で発信するのにぴったりのネーミングです。

個人ワークでは、商品をお客さんに紹介する際のアピールポイントを整理しました。フィールドワークで事業者さんから聞いた地域や商品への思いを振り返ったり、食べた時の感動を思い出したりと、自分なりの言葉を探してまとめました。

売り文句を考えよう（個人ワーク） 大谷さん

宗安寺のごセンター	夢産地とさやま開発公社	JIA高知市女性部協賛部
つくっているのはどんな人？ どこでつくられているのか？	つくっているのはどんな人？ どこでつくられているのか？	つくっているのはどんな人？ どこでつくられているのか？
誰が作るのか？ 誰が作るのか？	誰が作るのか？ 誰が作るのか？	誰が作るのか？ 誰が作るのか？
どんな特徴があるのか？ どんな特徴があるのか？	どんな特徴があるのか？ どんな特徴があるのか？	どんな特徴があるのか？ どんな特徴があるのか？
どんな魅力があるのか？ どんな魅力があるのか？	どんな魅力があるのか？ どんな魅力があるのか？	どんな魅力があるのか？ どんな魅力があるのか？
どんな価値があるのか？ どんな価値があるのか？	どんな価値があるのか？ どんな価値があるのか？	どんな価値があるのか？ どんな価値があるのか？

当日までにできること・やりたいことを出し合おう

やりたいことは？	できることは？	まちなの活用方法
食の表現に特化した単語、土佐弁での感情の出し方をミニスタディ？ 鏡川の地図と取れるもの、特産品の絵をつくりたい（苦勞話などを書いた要マップ？）	・土佐弁のPOP ・ご当地ネタ選考で伝える（石川さんボケ・川田さん突っ込み） ・生産者の方の話を聞いておく（電話もする！笑） ・土佐人でなくても「げよ、ちや、ちやへ、にやへ」を言葉してくれたらいいね！？笑	・投げぼっちり ・生産者のみなさん教えてください！ ・レシピ教えてください（受講生連携） ・商品に関連の既存ページをピックアップ ・商品の魅力や関連体験を尋ねるページを新規作成？ アプリであることを生かして、高知に興味のある人が現地と繋がる

出店の方向性が見えてきたところで、当日までにできること、やりたいこと、そしてまちなの活用法を出し合いました。「まだ食べていない商品を味見してみたい」「土佐弁で接客したいから、地元の人に習いたい」「ハッシュタグを作って SNS で鏡川の情報を発信したい」など、次々にアイデアが生まれました。

講座終了後、それぞれの興味関心に合わせて鏡川流域 PR チーム、店舗レイアウトチーム、SNS チームが発足、当日に向けて準備を進めています。得意なことや好きなことを生かして取り組んでいる様子はとても楽しそう。今回のファーマーズマーケットが、自分らしく鏡川とつながるきっかけにきっとなるはずですよ。



次回の講座は 2 月 12 日（日）、ついに青山ファーマーズマーケット出店です。来場者に鏡川を知ってもらい、ファンを増やすことができるよう、楽しみつつ取り組んでいきます。